

ガザミ類の中間育成時における生残率向上のための 一考察：ガザミ類の中間育成に関するアンケート結 果から

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2025-04-24
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 小畑, 泰弘, 芦立, 昌一
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014581

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution 4.0 International License.



ガザミ類の中間育成時における生残率向上のための一考察：ガザミ類の中間育成に関するアンケート結果から
小畑泰弘・芦立昌一

ガザミ類の中間育成の現状を把握するためにアンケートを行った。アンケートは、全国のガザミ類の16種苗生産機関を対象とした。回答率は62.5%であった。最も多く使用されていた施設はコンクリート製水槽であり、その比率は50.0%であった。付着器の使用率は45.5%であった。最も多く使用されていた餌料種類は配合飼料であり、その使用比率は他の餌料との併用を含めると61.9%であった。平成15年度における中間育成の平均生残率は29.2%であった。得られた結果から考えられたいくつかの問題点について考察した。

栽培技研, 34(2), 79-87, 2007